

富士山、世界遺産へ 信仰、芸術、日本文化育む

三保松原除外が条件、鎌倉は見送り



世界遺産登録が勧告された富士山＝4月27日、本社機から、関田航撮影



国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産に、「富士山」（山梨、静岡両県）が登録される見通しとなった。世界遺産委員会の諮問機関が勧告した。共に登録を目指している「武家の古都・鎌倉」（神奈川県）は、日本が単独で世界遺産に推薦したものでは初の「不登録」の勧告で明暗が分かれた。6月16日からカンボジアのプノンペンで開かれる世界遺産委員会で最終的に決まる。

▼35面＝積年の正夢

フランス・パリの世界遺産センターが30日（現地時間）、文化遺産候補を審査する諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）の勧告内容を日本政府に伝えた。イコモスは遺産候補について「登録」「情報照会」「登録延期」「不登録」の4段階で評価する。

「富士山」はかつて、地形や生態系で評価される自然遺産での登録を目指したが、ゴミ問題の影響もあって国内で候補地を選ぶ段階で「落選」。古くから信仰の対象だったことや、葛飾北斎の浮世絵など日本独特の芸術文化を育んだとして、文化遺産に切り替えて、登録を狙った。

イコモスは勧告に先立って、登録名称の変更や25の構成資産から三保松原を除外することを日本政府に要請。理由は明示しなかった。政府は名称を「富士山」から「富士山と信仰・芸術の関連遺産群」へ変更し、三保松原の除外は拒否した。イコモスは勧告でも、三保松原を除いての登録が適当とした。

「鎌倉」は、既に文化遺産に登録されている法隆寺や姫路城と一緒に1992年、国内の候補地リストの「暫定一覧表」に最も早く掲載されたものの一つ。鶴岡八幡宮や円覚寺など21の社寺・史跡による10資産で構成する。

6月の世界遺産委員会で「不登録」と決議されると再推薦はできなくなるため、政府が推薦を取り下げる可能性もある。

イコモスの勧告を受けて近藤誠一文化庁長官は「鎌倉の評価については大変残念に受け止めている。関係者で分析を行った上で、対応を検討してまいりたい」との談話を発表した。

現在の世界遺産の総数は962件。そのうち文化遺産は745件だ。（藤井裕介）

◆キーワード

＜世界遺産＞ 1972年、人類の宝を守ることを目的にユネスコ総会で条約が採択され、始まった。日本は92年に条約を批准。現在、文化遺産として「法隆寺地域の仏教建造物」（奈良県）など12件、自然遺産として「屋久島」（鹿児島県）など4件が登録されている。「富士山」「鎌倉」のほか「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）を文化遺産としてユネスコに推薦している。

「顕著で普遍的な価値」があるとして世界遺産に登録されると、景観や環境の保全が義務づけられ、周辺の開発も制限される。観光客が増える効果もあるが、遺産の保存への影響も指摘されている。

H25.5.1 朝日新聞

End